第５学年　体育（生活安全・災害安全）　　　　　　　場所：多目的室　５年２組教室

けがの防止

１組　　指導者　接待　陽子

ゲストティーチャー(ＧＴ)　ＡＥＤ指導者

２組　　指導者　志摩邑　亮一 ・ 宮森　広恵

**１　目標**

　・校内で起こる事故等の危険について理解し、安全に行動できるようにする。

　・災害安全に関する意識を高めるために、避難訓練・防災訓練等の意義を理解し、積極的に参加できるようにする。

**２　新学習指導要領との関連　【体育】〔第５学年及び第６学年〕　Ｇ保健（2）－ア（ｱ）（ｲ）**

ア　けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。

（ｱ） 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な

判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。

（ｲ） けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。

**３　単元について**

　　けがの防止については、けがの発生要因や防止の方法について理解できるようにする必要がある。特に学校生活の中で起こるけがについては、起こりやすい場所や原因を知り、簡単なけがの手当てができるようになることで、自分の生活に生かしていくことができる。

さらに、大きなけがが起こった際の対応の一つとして、心肺蘇生やＡＥＤでの手当てを学ぶことで、速やかに処置をする大切さについても学ばせたい。

**４　主題に迫るための手だて**

　・自分の事としてけがの発生を考えることができるよう、校内のけがの様子についての資料を提示する。

　・自分の安全を自分で守るために、自分でできるけがの手当てを身に付けられる場を設定する。

　・けがや事故の手当ては、時間との勝負になる場面が出てくる。速やかに処置する大切さについても学べるようにする。

**５　指導計画　（５時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ☆ねらい　○学習活動 | ◎安全教育の視点に立った留意点　■評価 |
| １ | ☆どんな事故やけがが起こっているのかを理解し、事故やけがが起こる原因を考える。  ○資料をもとに、事故やけがの起こり方について考える。 | ◎自分の事として捉えるために、校内のけがの状況についての資料を活用する。  ■事故やけがは、人の行動と周りの環境が原因で起こることや心の状態と体の調子が関係していることを理解している。 |
| ２ | ☆交通事故を防ぐために、どんなことをすればいいのか考え理解する。  ○交通事故が起こり得る場面をもとに、その危険をどう回避すればよいのか考える。 | ◎視覚的に捉えることができるよう、効果的な映像資料を活用する。  ■様々な交通に関する場面に隠れている危険について理解している。 |
| ３ | ☆学校や地域でのけがの防止について考える。  ○身近に潜む危険について知り、それを回避する手だてについて考える。 | ◎身近な題材をもとに考えられるようにする。  ■環境を整えることや安全な行動をとることが大切であることを理解している。 |
| ４  (２組本時) | ☆けがが起きたときの手当ての仕方を理解し、自分にできる手当ての仕方を身に付ける。  ○けがが起きたときにどうすればよいのか考え、簡単な手当ての仕方を学ぶ。 | ◎実習を通して、簡単な手当てができるようにする。  ■けがが起きた時の簡単な手当ての仕方を身に付けている。 |
| ５  (１組本時) | ☆大きなけがが起こったときの対応の仕方について、考える。  ○救命の大切さについて学び、心肺蘇生やＡＥＤについて理解する。 | ◎災害安全の観点から、速やかに処置する必要性について考えさせる。  ■大きなけがが起こったときに、周囲の人に助けを求めたり、救急法などで人に働きかけたりすることの大切さに気付いている。 |